

『障害者の皆さんと共に考える交流防災』座談会

2022年12月5日付

資料作者；中小路 絵美

目的：個別計画に基づき、災害時体制が少しでも繋げられるようとする。

対象：障害者、ケア関係者、要配慮者（子ども、高齢含）、こむ1会。

【計画】

- ① プロジェクトチームの輪をこむ1会から広げてみてはどうか。
- ② 輪として対象：コム1交流実行委員会、障害福祉課、各地区担当（宝塚市内第一ブロック～7つある）、ZUKAVO（社協ボラセン）、スマレン、総合防災課。

【プラン】

- ① 阪神淡路大震災から～実際にあった事例（講和）
- ② 心のリラクセス～（実践体験）
- ③ テーブルワーク～（例）同じ障害別もしくは関係者別にテーブルの島をいくつか作り、
「災害発生時、後に必要になる事は？ 個々に必要な物は？それらは、どんな工夫を？」など
書き出してもらおう。
※各テーブルにファシリティを付けて、模造紙に書き出す補助のご協力をつのれば
クリアになるのではないかと思案しました。

最終～模造紙の上で上がったことを各テーブルごとの代表（もしくはファシリティから）に
発表していただくなど。

これらの効果としては、それぞれの障害者が抱えている状況の違いや本音を共有することで
平常時から自分がしておくべき事を考えていただく機会を設けるきっかけとしていただくこと
尚且つ、関係者型との共有を図り個別支援計画に近づけるよう交流を持てるよう
期待しています。

【最終盛り上げ】

宝塚市交響楽団による演奏。

「宇宙戦艦ヤマト」「鉄腕アトム」で音楽による応援エール。